

## 地理

### 大問1

気候は地理の根幹をなす分野であり、まずはどこにどんな気候が分布しているのかを把握することが大切です。よって、気候区分図をトイレの扉などに貼っておきトイレをしながら眺めるなど、日常生活で視界に入るように工夫するという立派な勉強法だと思います。また、気候の分布のみならず、気候の「仕組み」を理解することも必要です。今回の模試では、問2（2）や問3（3）はなぜそのような気候になるのかという「仕組み」を記述する問題です。気候区分図を眺めた時、あれ、何でここにはこの気候が分布しているのだろう？と疑問に思えばより理解が深まります。ここで1問。アメリカの東海岸は温暖湿潤気候が卓越しているが、一部西岸海洋性気候が分布している（資料集 p46）。その理由を答えなさい。

### 大問2

工業はまだ学習していない範囲なので解けなくても心配するな！です。ただし、問1（1）や問4などの用語はすでに学習済みなのでしっかり答えてほしいところ。全体を通して言えることですが、問題文や解説などを読んで知らない・覚えていない用語が出てきたら時は必ず調べておきましょう。常日頃、地理は暗記でないとっていますが、もちろん最低限の知識は必要です。

### 大問3

どの分野でも「人口」は付きまといます。国・地域と人口の関係、経済の発展度合いと人口の関係、生産や輸出入と人口の関係。その辺りを整理しながら理解を進めてください。また、折れ線グラフから読み取れる事柄についての問題が多く出題されています。特に地理では、図やグラフを読み解く力が必要とされます。何を表すグラフなのか。縦軸と横軸は何を示しているのか。単位は何か。大きく変化しているところはどこか。その変化の背景は何か。解説を踏まえながら、もう一度丁寧に読み込みましょう。

### 大問4

ヨーロッパの地理の問題。いわゆる「地誌」という分野で、毎年共通テストでもどこかしの地域が出題されます。今回のヨーロッパですが、まだやってないので解けなくても心配するな！とはいきません。問1、問2などは「地形」の知識を問う問題であり、2年生で学習済みです。全く歯が立たなかったよという人は、いますぐ、必ず、絶対に2年生の時のプリントや白地図で復習しておいてください。また、問3、問7のEUや、問5の宗教も学習済みですし、問6の農作物は3年生で学習した農業で触れました。つまり、大問4については今までの知識をフル活用すれば、7割ぐらゐは正解できるはずなのです。これは他の地域を学習するときも同じです。ので、できるだけ早い段階で今まで学習した分野、特に地形と気候は復習しておきましょう。